

# 京都教区時報

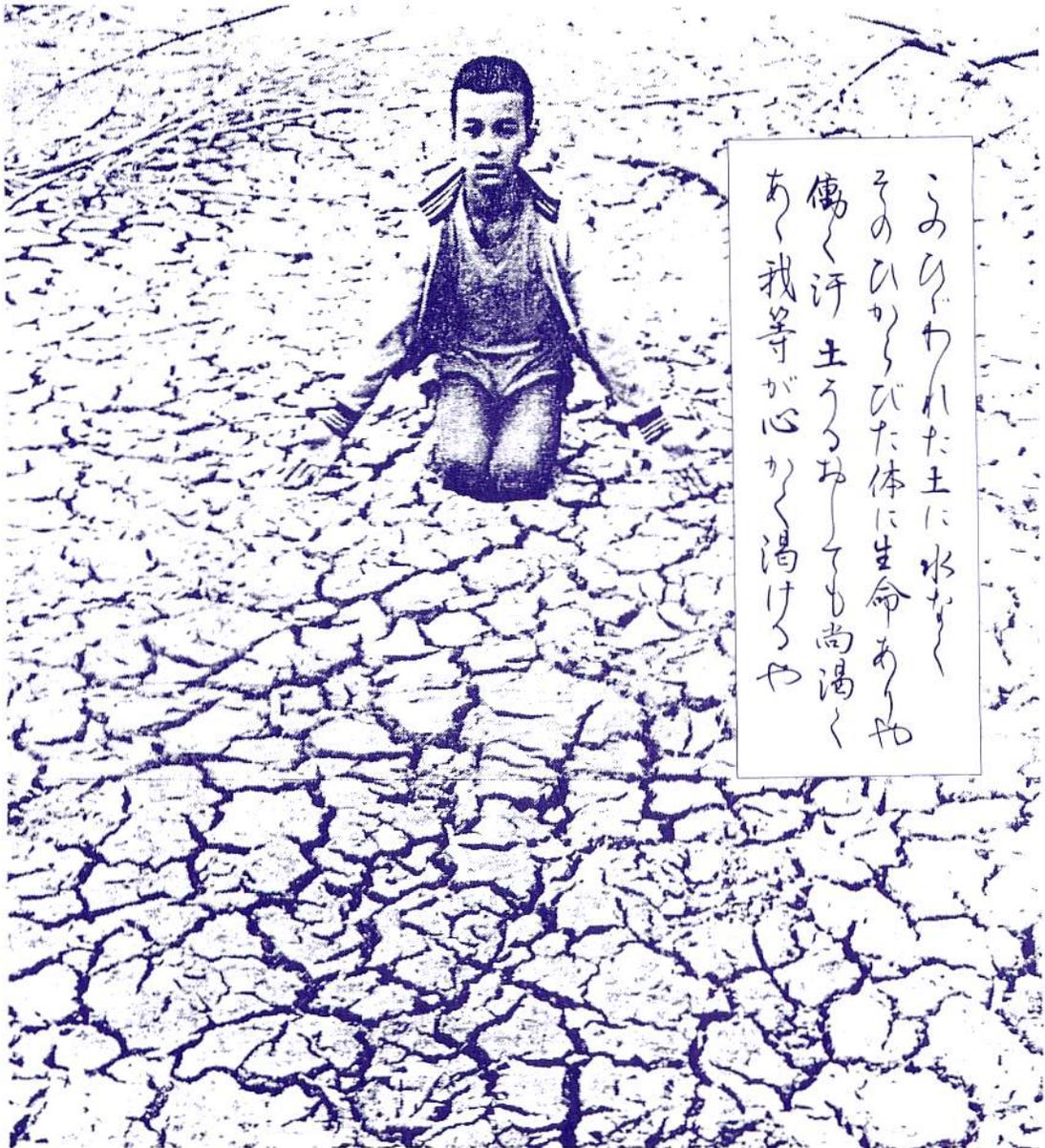
第134号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東人 Tel 761-9095

） 信徒と司祭でつくるには (1) （



こみりやわれた土に水なく  
 そのひかりびた体に生命あや  
 傷く汗土うるみても尚渴く  
 あゝ我等が心かく渴けら

宣教師牧評常任委員会報告

50周年実行委員会からの

各提案について話しています

88年4月22日

議題

50周年記念事業実行委員会からの

提案

別の委員会にする。

結論

1. 資料収集委員会の設置と構成

および、委員の推薦について

50周年資料収集委員会との関わり

50周年資料収集委員会の意向は

今まで集ったもの26箱分は、50

周年資料収集委員会で整理しな

ければならないと考えている。

新しい資料収集委員会は

これを継続すること、収集方法

のシステム化を図る。また、ど

のような資料(範囲)を収集し、

保存するかなどについても検討

整理する。

資料収集委員会のメンバーについ

て

新しいメンバーにすることに

いては、全員賛成だが50周年の

方から長崎氏に入っていた

事務局からの推薦メンバー

Sr小野(メーベル)、島田、佐伯(河原町)

教区事務所との関わりについて

教区事務所と連絡を取りながら

別の委員会にする。

結論

● 50周年委員会、教区事務所とは

別に新しいメンバーで発足する。

● 現段階では、常任委員会承認の

メンバー。

● 委員は必要に応じて増やすこと

ができるようにする。

● 委員の任期については委員会

検討。

● 委員会の目的、性格を明確にし

る。

● これからどのように継続するか

資料の整理、収集、保管方法な

どを検討していく。

● 各小教区から、資料を確実に集

められる態勢作り。

● 委員が交替しても継続できるよ

うにしておく。

● 宣教師牧評議会と関係しあう。

2. 青年センターの設置について

常任委員会としては、青年セン

ター設置の実現に積極的に取り

組む姿勢をもち、青年のほうに

この問題をおろし、青年自身に  
専任の司祭、またはシスターを  
置くことも含めて、センターの  
場所、役割、その他具体的要望  
を出してもらうことに決定。

3. 何でも相談室について

提案説明(事務局による叩き台(村上ト師)

設置が望まれている切実な問題

なので次のような段階で考えて

みた。

資料の整備。(相談の手引きのようなもの)

各小教区、修道院、施設、事務

所などにその資料を配る。

電話で対応する人達の教区によ

る講習会。

将来、専従者をおく。

以上のような段階を踏まえなが

ら相談室を設置してみてもどう

か。しかし金銭的な相談は取り

扱わない。

以上のような提案をうけ、いろい

ろな質疑がされた。

結論

● 小冊子を作る。教区時報に掲載

された記事の中から、まずまと

める。村上透磨師を中心にす

めるが、必要があればボランティア

アイデアを募る。

4. アジアの教会との交流基金(仮

称)について

提案説明(越知師)

設立準備委員会の構成メンバー

は具体的な氏名推薦がなかった

ため事務局より次の方々を腹案

として提示。(時報133号P2参照)

準備委員会の役割の骨子名称を

決める。

理念、目的を明文化する。

委員会の組織及び構成、並びに

メンバー。

運営、管理方法の明文化。

対象区域。(日本・パキスタン)

基金管理機関。

既活動団体の情報収集。

基金募金等について。(段階的目標額

募金活動方法等、毎年11月23日に近い日

曜日の堂内献金は教区創立記念日にちな

んで募金として当てる)

結論

● 常任委員会は、推薦のあったメ

ンバーを承認したので同準備委

員会は、早速発足する。基金募

金内容については7月9日、10

日の評議会に提案する予定であ

る。

次回評議会には以上の結果を提出。

なお、紙面の都合上要点のみ掲載。

詳しくは教区事務所にお問合わせ

下さい。

信徒と司祭でつくるには (1)

信徒の仕事

司祭の仕事

見なおしてみよう

それぞれの役割を

ずーと以前から、福音宣教共同本作りや、適正配置の問題や使徒職の問題が話し合われる度ごとに、司祭と信徒の役割、仕事は何だろうといつもみんなの口にはぼつては消えて行った様な気がします。何故消えたかわかりません。誰がそうしたのかもわかりません。でも最近、ナイスでも司祭の役割、信徒の役割とかしきりに話される様になり、一度時報でもどんな仕事をしているか書き出してみようと言う事になり今回の企画となりました。

そこで時報編集部は、教理センターのスタッフに、信徒、シスターの3名の方々に加わっていただき、わいわい話しながら2回にわたって以下のようなものを書き上げてみました。(出るわ出るわ……)

今回は、「どうあるべきか」と言うより小教区にしほり「今している仕事」を思いつくまま書き出してみました。出て来た内容を見て笑い出される方もいらっしゃるかもしれません。何がこんな事と思われれる事もあるでしょう。

重要な事で落ちているものもあるでしょう。でも一つのたたき台として使っていただきたいと思います。(不足分は補足して下さい)

このあとまだ2段3段と企画しております。「答えるのはめんどくさ」と言わずせめてその努力だけでも奉獻して下さい。

◆ミサについて

ものの準備

|                            | 貴方の教会<br>では現在誰<br>がしているか |                          | 今後は誰が<br>したほうが<br>よいか    |                          |
|----------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                            | 信徒                       | 司祭                       | 信徒                       | 司祭                       |
| 1. ミサ直前の準備(教会の門を開けるなど)     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 祭壇                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 祭具                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 祭服                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 会場準備(照明、放送、冷暖房、掃除)      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. ミサに使用するパン、ブドウ酒などの購入     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. 役割分担表の作成(侍者、朗読、伴奏、掃除)など | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

霊的準備

|                          |                          |                          |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 8. 聖書と典礼の分かち合い           | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9. 共同祈願づくりの準備            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10. 説教づくり                | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11. 音楽準備(練習、伴奏、選曲)       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12. 内容プログラム(聖歌、解説書づくり)など | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

チェックの仕方

誰がしていますか？

1. 各項目の仕事をしている人に○  
(両方の場合は両方に○を)
2. 必ずしている人には◎
3. やっていない項目には×
4. 知らない項目は空欄

●どんな方法でもいいのでチェックしてみましょう。

●答えがでたら集計してみんなで信仰共同体としてこれでよいのか話し合ってみましょう。

(試験ではありません。現実を知ること、その上でどうするかを考えるためです。)

●結果は時報編集部に送って下さい。分析してみなさんに報告します。(小教区名と男女、年齢をわすれず記入。名前は無記名で結構です)

※※※※※※※※※※

|                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 貴方の教会<br>では現在誰<br>がしているか | 今後は誰が<br>したほうが<br>よいか |
| 信徒                       | 司祭                    |
| 信徒                       | 司祭                    |

会計管理

- 35. 維持費、献金などの回収と計算……………
- 36. 帳簿づけ……………
- 37. 源泉徴収……………
- 38. 予算決算の計画……………
- 39. 現金預金の管理……………

など

建物維持管理

- 40. 教会施設の修繕修理……………
- 41. 長期的増改築計画……………
- 42. 備品の管理購入……………
- 43. 植木、庭の管理……………

など

庶務

- 44. 転出転入などの名簿の管理……………
- 45. 受付(電話を含む来客の対応など)……………
- 46. 洗礼台帳……………
- 47. 郵便物の整理及び管理配布……………
- 48. 消耗品の管理購入……………
- 49. 記録の保管……………

など

広報

- 50. 機関誌発行……………
- 51. 掲示板の管理……………
- 52. ポスターお知らせの作成……………
- 53. 電話連絡網……………
- 54. カトリック新聞への協力(投稿、購入)……………
- 55. 教区時報への協力(配布、投稿)……………
- 56. 広報の日、行事その他の取組み  
(マスコミの利用、活用)……………

など

※※※※※※※※※※

|                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 貴方の教会<br>では現在誰<br>がしているか | 今後は誰が<br>したほうが<br>よいか |
| 信徒                       | 司祭                    |
| 信徒                       | 司祭                    |

ミサの内部

- 13. みことばの祭儀の司式……………
- 14. 感謝の祭儀の司式……………
- 15. 奉仕者(司会、聖書朗読、侍者、伴奏者  
指揮、先唱者、聖体奉仕者、奉  
納、献金)……………
- 16. 受付……………
- 17. 案内……………
- 18. 介添(始めての人、障害者の方)……………
- 19. みことばの分かち合い……………
- 20. みことばの証し(発題、分かち合い、体験)……………
- 21. 説教……………
- 22. 共同祈願……………
- 23. お知らせ……………

など

ミサの後

- 24. 祭壇、祭服、香部屋の後片付け……………
- 25. 会場の片付け(電気、典礼聖歌集など)……………
- 26. 献金、維持費の計算……………
- 27. 参加者のまじわり……………

など

◆活動内容

行事の企画

- 28. 大祭日のお祝い(復活祭、クリスマス、創立記念)……………
- 29. 諸行事(七五三、成人式、敬老の日、母の日、父の日、  
死者の日、お盆、元旦、子供の日など)……………
- 30. 主任司祭に関わるお祝い……………
- 31. バザー……………
- 32. 運動会……………
- 33. 親睦(レクリエーション)……………
- 34. 婦人会、青年会、壮年会などの役員  
会活動……………

など

※※※※※※※※※※

|                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 貴方の教会<br>では現在進<br>がしているか | 今後は進<br>したほうが<br>よいか |
| 信徒                       | 司祭                   |
| 信徒                       | 司祭                   |

〈病者(老人病人)のケア〉

- 87. 老人たちの福音宣教の場.....
- 88. ネットワーク.....
- 89. 病者老人の発見、連絡(連絡網の整備)  
家庭訪問.....
- 90. 施設の紹介.....
- 91. 公的機関への対応.....
- 92. 関わり方、介添、仕方についての学び.....
- 93. 勉強会への参加.....
- 94. 死の準備.....
- 95. 聖体奉仕.....

など

〈結婚〉

- 96. 結婚講座.....
- 97. 結婚後のアフターケア(教会行事へ  
の案内、結婚記念日への対応、マリッ  
ギ・エンカウンターなどの夫婦講座).....

など

〈ゆるしの秘跡〉

- 98. 糾明.....
- 99. 子供の告白の準備.....
- 100. 共同回心式.....
- 101. ゆるしの秘跡に導びくための介添.....
- 102. 感謝への介添.....

など

〈司祭職〉

- 103. 召命錬成会.....
- 104. 神学生養成の協力.....

など

地域社会との対外的関わり

- 105. 町内会、隣組の窓口、仕事  
(町費、清掃、回覧板、火の用心など).....
- 106. 諸行事への招待  
(講演会、各種の教会行事).....

など

※※※※※※※※※※

|                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 貴方の教会<br>では現在進<br>がしているか | 今後は進<br>したほうが<br>よいか |
| 信徒                       | 司祭                   |
| 信徒                       | 司祭                   |

教 学

- 57. 教会学校.....
- 58. 教師.....
- 59. 保護者会.....
- 60. カリキュラム.....
- 61. 行事.....
- 62. 中高生会のリーダー(中高生、大人).....
- 63. 指導方法内容.....
- 64. 青年層の場作りと指導.....
- 65. 要理指導(養成、キリストを知らな人のため).....
- 66. 聖書研究、講座、分かち合い.....
- 67. 各種研究学習会(社会、生活、教理(神学)).....
- 68. 黙想会、錬成会、エンカウンターなど.....
- 69. CBS、CGS.....

など

秘跡典礼

〈幼児洗礼〉

- 70. 式.....
- 71. 準備.....
- 72. 日取り.....
- 73. 式次第(式のありかた).....
- 74. 会衆の参加.....
- 75. 両親の洗礼準備.....
- 76. 代父母の洗礼準備.....

など

〈大人洗礼〉

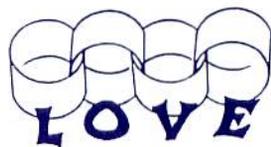
- 77. 式.....
- 78. 本人の準備.....
- 79. 要理勉強.....
- 80. 共同体の参加と受け入れ.....
- 81. 共同体の刷新.....
- 82. アフターケア(諸活動への参加、養成  
への参加、使徒職への参加).....

など

〈堅信〉

- 83. 教会学校.....
- 84. 中高生の集いを充実させながら、堅  
信の教えの確認と準備のための教え  
を学ぶ.....
- 85. 使徒職の確認と学び直すこと、また  
その実践参加.....
- 86. 目覚めた人を受け入れる共同体.....

など



開かれた教会—社会問題と取り組む種々のグループ紹介—

## 「正義と平和」京都協議会

主として部落問題に「つばり」、取り組んでいきます

カトリック正義と平和京都協議会では、発足以来10年間、主として部落差別の問題に取り組んできました。将来的には、もっといろいろな正義と平和に関わる運動をしなければならぬと思っておりますが、少なくとも現在までは人員の不足もあり、部落問題にしぼり取り組んでいます。

今でこそ教会の中でも部落問題が語られるようになりましたが、それは10数年前までは考えられないことでした。教会の中に差別はないという建前の裏に、熱心な信者による結婚差別がありました。またその問題には触れないほうが良いといった消極的拒否から、教会のパンフレットもその地域には配らないといった事までありました。

主として部落問題に「つばり」、取り組んでいきます

んできました。聖書の読み方が変わったという人、自分は差別してないと信じていたのという人、今まで見えなかった事が一杯見えきたという人……。

私達は、まず部落差別の現実から学ぶことを大切にしています。現実のとらえかたが違つくと、その解放への道筋も違つてくるからです。部落差別をただ結婚差別、就職差別、差別発言、いじめなど、事件としての面からとらえると、皆仲良くすればよいという心掛けで解決する問題になってしまいません。けれど、部落差別はそれだけで解決する問題ではありません。台風がくれば水に浸かる地帯、火事があれば消防車も入れない道路、差別と貧困のため、文字を学ぶ機会すら奪われてきたという現実、（現在30代、40代の若いお父さん、お母さんの中にも小学校以下の教育しか受けられなかった人が

少なくありません）また安定した職業につきにくい事、このように、差別は日常生活を貫く形で存在するのです。私達はまずそこを認識することから始めたいと思います。

以前は各教会を訪ねて、ミサ後に学習会をしたりしていましたが、今年は月1回、カトリック会館で学習会をしています。飛び入りでも参加しやすいように工夫していますので、どうぞご参加下さい。また隔月に「てくてく」という機関誌を発行しています。各教会にもおいてありますので一度手にとっていただきたいと思ひます。

そうした集まりや交流をこつこつと続ける中で、解放運動の力強さ、温かさを共に感じたい、差別されている人達の、外見にとらわれずに生き方を学びたい、識字率99・9%といわれる日本の社会で

文字を奪われて生きるあの人の声の声を聞く事から、自分の生き方を問い直したい、イエスの福音はどこでより生き生きと息づいているかを一人でも多くの方と一緒に感じていきたいと思ひます。そして、共に会員として活動する方、賛助員として経済的に支えてくださる方などが揃って、部落問題その他さまざまな不正義との闘いを、イエスに従おうとする者の課題として共に担つていけたらと願ひます。

そのための障害は過去において多々ありました。社会問題へのアレルギー、魂の救済を説く精神主義、とかく正義はなくとも平和と愛を求めがちな融和主義、キリスト教の教育と社会の変革はまずエリート及び中産階級からと始めがちな教会活動、「……のために」とか「してあげる」とかいった慈善主義、等々。しかし、昨今の「社会と共に歩もう」とする教会の姿勢から、そのような障害はほとんど取り除かれるはずだといふ明るい期待を持っています。

どうぞさまざまな先入観を捨て、一度集まりに参加して下さい。

文責 宮川

夏ですノ京都地区でも各プロック、グループで次のような青年たちの催しが予定されています。

★青年のつどい 三重ブロック  
日時・8月13日〜15日

場所・尾鷲教会

テーマ、費用等は未定

連絡先 川口 順久

☎052(331)7414

★夏の合宿 丹後合同青年会

テーマ(?)おもいつきり遊ぼう!

日時・7月29日〜31日

場所・網野教会

連絡先 安田 満

☎07726(4)3168

♪南信協青年部フォークミサ

日時・7月24日(日)AM9時

場所・北白川教会



自分の所属以外のプロックの催しにも参加できます。この夏、青年の交流の輪を拡げてみませんか。

▼青年のコーナーにどんなご投稿下さい。

情報交換の場に、意見交換の場にご利用いただければ幸いです。

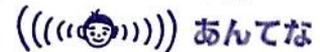
# あんてな

## つとつびの妻 つとつびのメロディ

みなさんノすみませんが聞いていただけませんか、とある青年達のががままを。

そうなのです。わき目もふらず盛りあがってしまったのです。「とにかくヤロウ!」

「そうだそうだヤロウ!」



# あんてな

「絶対ヤロウ!」この盛りあがりにはチョッと恐しいです。後になって否定できるシロモノではありません。信仰と同じく突き崩すことなど決してできないのです。だからみなさんも一緒に盛りあがってほしい。「クリスチャン・ミュージック・フェスティバル(仮称)」を開催しようじゃありませんかノ自己満足ももちろんあるけど、音楽を通して青年信徒間の親交を深め、信仰を育てていくステップになつたら、と考えています。なお、ただ今、一緒に企画して下さい方を募集しています。教会の中でエネルギーをもてあまして人、特に若者達、音楽が好きなのはもちろん、少しでも興味のある人はぜひ力を貸して下さい。連絡先はこの計画をたくらんだ西院教会の佐々木敦くんです。☎0775(312)0499

(西院教会・上田哲生)

### 丸山吉高師を悼む

## 秋の蝶 風に乗り得て 遙かな

この句は、丸山師 句集 蟲時雨の最後の句です。なんとなく、天国を求めて旅立つ前の心境を述べている様に思えてなりません。

去る6月22日午前8時、アジジのフランシスコ丸山吉高師は、神様の御手に帰られました享年73才。

師は1947年12月22日東京大神学院で叙階。帰京後、河原町教会の助任を経て、河原町教会の主任。その間、司教総代理もつとめられ、ここ10年間ほどを高野教会の主任を勤められた。

河原町教会在任中は、旧聖堂移転と新聖堂設立が最も大きな仕事であったと思われるが司教様を助けてその任にあたられた。

勿論この時期、戦後の混乱期から現在に到る社会の大変な変化の中又、パチカン公会議のうねりの中で大変な努力をなされた事は皆の知るところである。

師はいわゆる布教司牧型の司祭であり、何とかして一人でも多くの信徒を作る事に心をこめられたと言えよう。

師には一つのロマンがあり、祭壇で倒れる事を司祭の喜びとすると言う事が一つの願いであった。

つたらしく、信徒達にとってそれは一種の尊敬と共に、師を愛するが故に悲痛なまなざしともなった様である。どうか静かに休んで下さい。そんな願いを聞いた事がある。

布教熱心とがんこさは人一倍つよく、一見クールに見える事さえあったが、師の隠れた一面を紹介しておこう。

師はアジジのフランシスコの霊名を自らいただき、在世フランシスコ第三会員として、フランシスコの精神をこよなく愛された。

さらに彼は俳句をよくし、ホトトギス同人であった。先の句は、師の句集 蟲時雨の最後の句である。

ここに二、三を紹介する。  
「秋の野を飯りてミサを捧げねば」  
山野の散策がお好きでした。  
「ロザリオを持ち替え拾う木の実はかな」

ロザリオを愛しレジオに情熱を傾けられました。  
「降る雪に悲しくききだめ聞く神父」  
死の準備はすでに出来ていました。遺影の準備までできていました。

「天国の追慕ひととき蝟立ちて」  
神父様ありがとございました。

村上透磨

# お知らせ



## 教区スケジュール

7月

- 4日 司祭評議会
- 9、10日 第3回カトリック障害者連絡協議会総会(横浜)
- 10日 京都南部ブロック「平和への歩み」(河原町教会地下ホール)
- 15日 SVP理事会
- 16日 カルメル山の聖母の荘厳記念(女子カルメル会)
- 17日 奈良ブロック「平和への歩み」(御所教会)

## 「平和への歩み」講演会

京都南部ブロック  
日時 7月10日PM2時  
テーマ 在日の思いー日常生活の中から  
場所 河原町教会地下ホール  
お話し 在日韓国人二世の方  
奈良ブロック  
日時 7月17日AM10時30分  
ビデオ  
「差別からの解放ー胸をはってふるさとを」  
場所 御所教会

## ▼女性の方へご利用下さい 黙想のための部屋が

一つ誕生しました。

—カロンデレットの聖ヨゼフ修道院  
黙想会に参加したくてもできない方、祈りの機会に恵まれない方のために。ご自分で黙想の日を選べます。落ち着きのある聖堂で賀茂川の水の流れに耳を傾けながらゆっくり座ってみてください。  
(土曜日(夜)・月曜日(朝)修道院でミサがあります)  
申込・詳しいことは

〒606 京都市左京区下鴨中川原町110  
カロンデレットの聖ヨゼフ修道院Srグレイスまで  
☎075(781)0669

## ▼石井健吾師を迎えて

—初代教会と現代の宣教—  
レオナルド・ポフの教会観

日時 7月16日(土)14時～16時  
7月17日(日)10時～16時  
場所 聖ドミニコ女子修道会  
〒602 京都市上京区河原町通今出川  
下ル東入ル梶井町448

☎075(231)2017  
参加費 無料

申込〆切 7月10日(Sr渡辺まで)  
▼7月17日(日)の参加は、午前、午後どちらでもお話しは分るようになっていきます。

## “Blowin' in The Wind” —今、風の中—

神様は、日々出会う人々、でき事を通して私たち一人ひとりに語りかけて下さいます。名もない、聞き過ごしてしまいたいような歌の中にも神様からのメッセージが一杯です。神様からの息吹(風)を感じとるか、感じとれないかで開けてくる世界も違ってきます。志朗くんの歌声に耳を傾けてみましょう!  
日時 7月9日(日)PM7時～8時半  
場所 カロンデレットの聖ヨゼフ修道院  
〒606 京都市左京区下鴨中川原町110  
TEL075-781-0669  
歌う人 菅 志朗(西陣教会)  
どなたでもご参加下さい

教会の仕事ってたくさんありますね。これも、あれもと思いつくままにあげてみたら、ちよつとイヤになりました。私が一人ですわいではないのに。みなさんはどうでしたか。司祭も信徒も見直していきましょう。それぞれの役割を。(い)



## 「平和への歩み」三重ブロック

テーマ [A] アジアの現実と私たち(キリスト者)の責任  
[B] 神様からあずかった環境を保つため

| テーマ   | 日時                   | 場所     | 学習テーマと講師  | 担当者及び備考   |
|-------|----------------------|--------|---|---|
| [A] 1 | 6月19日<br>10時～12時     | 津教会    | タイ・ノンカナ村における教育援助活動(メグジュール会)支援の報告<br>三重ワールド・パズール 徳井 賢氏 | 三崎久恵 (津)<br>TEL0592-26-0617                                 |
| [A] 2 | 7月24日<br>10時～12時     | 津教会    | アジア諸国の社会情勢<br>ノートルダム教育修道女会シスター<br>Sr.鎌田 論珠            | 堀内まり (津)<br>TEL05926-8-0915                                 |
| [A] 3 | 8月7日<br>主日ミサ後        | 四日市教会  | 滞日アジア労働者の実態と救援活動<br>名古屋あるすの会                          | 篠田秀数(四日市)<br>TEL0593-87-3630<br>宮西いづみ(津)<br>TEL0592-24-0549 |
| [B] 1 | 9月4日<br>主日ミサ後        | 伊勢教会   | 原子力発電の問題<br>くらしを考えなむす会<br>精華大学講師 徳田 勲氏                | 矢島邦俊(伊勢)<br>TEL0596-28-6297                                 |
| [B] 2 | 10月10日<br>13時30分～16時 | 津ブライザヨ | 映画「トリ・ムシ・サカナの子守唄」<br>(亀井文夫監督) 上映会                     | 上映実行委員会(津)<br>TEL0592-28-2580                               |

### 平和ミサ

8月7日(日) 各小教区毎に献げる 京都教区内統一典礼  
—共同祈願を各小教区で話し合っける—